

・(4-1) 文化課所管事業

1. 文化財総務費
2. 指定文化財管理
3. 埋蔵文化財分布調査
4. 民間開発に伴う緊急発掘事業
5. 北西部土地区画整理事業に伴う発掘調査
6. 文化財普及啓発事業
7. 重要文化財御経塚遺跡出土品保存修理事業
8. 文化財保存修理事業
9. 文化振興総務費
10. 市美術展
11. 椿まつり事業
12. 国内交流事業（文化課分）
13. 文化会館管理
14. 情報文化振興財団
15. 芸術鑑賞事業
16. 文化財施設管理事業
17. デジタル資料館事業
18. (仮称)富奥地区防災コミュニティセンター建設関係発掘調査事業
19. 埋蔵文化財整理事業・二日市地内歩道整備に伴う緊急発掘調査
20. 喜多家住宅調査事業
21. 四十万安養寺線外1路線整備事業に係る埋蔵文化財発掘調査
22. 野々市中央地区整備事業（にぎわい交流ゾーン）（文化課分）

平成28年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成27年度実施事業分)

事業概要

事務又は事業の名称			文化財総務費			所管	部	教育文化部	
							課	文化課	
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】					区分	自治事務	
		5 文化の継承と創造と担い手の育成						ソフト事業	
	1 文化財と文化資産の活用					単独事業			
	教育振興基本計画 施策名		基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(3) 伝統行事・文化財の保護と活用						
	行政改革 推進項目	00 該当なし					事業の開始・終了年度		
							事業開始	**	年度
							終了予定	**	年度
	実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画		根拠法令	文化財保護法第190条 野々市市文化財保護条例14条				
	事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が文化財関係団体・市民に		事業の目的	文化財関係団体の活動促進				
	事業の内容	・文化財保護審議会の開催 ・富樫氏頌徳会の活動助成		平成27年度 活動実績	・文化財保護審議会の開催 ・富樫氏頌徳会への活動助成 漫画本 富樫氏の歴史物語『八曜の剣』刊行 ・末松大兄八幡神社仏像調査事業				
事業の指標	種別	指標の名称		単位	最終目標値	平成26年度	平成27年度	平成28年度	
	成果指標	市指定無形文化財の件数(かっこ内数値は 当該年度に増加する件数)		件	4	1(0)	1(0)	1(0)	
事業のコスト	事業費	区分		平成26年度		平成27年度		平成28年度予算	
		財源内訳	国庫支出金 (千円)	0	0	0			
			県支出金 (千円)	0	0	0			
			地方債 (千円)	0	0	0			
			その他 (千円)	0	0	0			
			一般財源 (千円)	2,324	3,590	2,511			
	事業費計 (千円)	2,324	3,590	2,511					

実施計画

年度計画	区分	平成29年度計画	平成30年度計画	平成31年度計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	・文化財保護審議会の開催 ・富樫氏頌徳会の活動助成	・文化財保護審議会の開催 ・富樫氏頌徳会の活動助成	・文化財保護審議会の開催 ・富樫氏頌徳会の活動助成

自己評価

自己評価	前年度 自己評価	次年度の 方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了（今年度中） F 統合（今年度中） G 廃止（今年度中）	理由	市内に残る文化財の保存及び活用を図るため、文化財の調査・指定、文化財保護審議会の開催、歴史関係団体への助成を行っていく。
	C	C			
改善点	今後の改善事項 （ニーズ・課題等）		無形民俗文化財の指定に向けた調査を継続して行う。		

平成28年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成27年度実施事業分)

事業概要

事務又は事業の名称			指定文化財管理		所管	部	教育文化部	
						課	文化課	
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 5 文化の継承と創造と担い手の育成 1 文化財と文化資産の活用				区分	自治事務 ソフト事業 単独事業	
	教育振興基本計画 施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(3) 伝統行事・文化財の保護と活用						
	行政改革 推進項目	00 該当なし				事業の開始・終了年度		
						事業開始	**	年度
						終了予定	**	年度
	実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	野々市市文化財保護条例第8条、第13条				
事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が市民に	事業の目的	市指定文化財の保存・管理とその活用である。					
事業の内容	市指定文化財のうち、史跡の清掃、樹木の剪定、殺虫剤散布を行い、管理の万全を図る。 市指定文化財水毛生家住宅の管理助成を行う。	平成27年度 活動実績	・市史跡農事社跡・住吉の宮・富樫館跡石碑・徹通和尚茶毘の墓の清掃（町内会等に清掃を依頼） ・市史跡富樫館跡・農事社跡の樹木の剪定と殺虫剤散布（シルバー委託） ・上林大椎の剪定助成 ・市指定文化財水毛生家住宅の管理助成 ・御経塚遺跡復元住居燻蒸					
事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	平成26年度	平成27年度	平成28年度	
	成果指標	管理・助成する市指定文化財数	件	－	6	8	6	
	事業のコスト	事業費 財源内訳	区分	平成26年度	平成27年度	平成28年度予算		
国庫支出金（千円）			0	0	0			
県支出金（千円）			0	0	0			
地方債（千円）			0	0	0			
その他（千円）			0	0	0			
一般財源（千円）			365	511	429			
事業費計（千円）		365	511	429				

実施計画

年度計画	区分	平成29年度計画	平成30年度計画	平成31年度計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	現状のまま維持	現状のまま維持	現状のまま維持

自己評価

自己評価	前年度 自己評価	次年度の 方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了（今年度中） F 統合（今年度中） G 廃止（今年度中）	理由	市は所有する指定文化財の保存・管理の責務がある。史跡については、存在地の町内会等に維持管理を依頼しており、市民による文化財管理への参加は、地元の文化財への愛着を深めるためにも有意義である。
	C	C			
改善点	今後の改善事項 （ニーズ・課題等）		現状のまま維持していく。		

平成28年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成27年度実施事業分)

事業概要

事務又は事業の名称				埋蔵文化財分布調査				所管	部	教育文化部	
									課	文化課	
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】						区分	自治事務		
		5 文化の継承と創造と担い手の育成							ハード事業		
	2 ののいちの歴史再発見						単独事業				
	教育振興基本計画 施策名		基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(3) 伝統行事・文化財の保護と活用								
	行政改革 推進項目	00 該当なし						事業の開始・終了年度			
								事業開始	**	年度	
								終了予定	**	年度	
	実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画			根拠法令		文化財保護法第93条、第99条				
	事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が開発事業者に			事業の目的		開発事業に係る埋蔵文化財の取扱について適正化を図る上で、埋蔵文化財包蔵地をより高精度に把握するため。				
	事業の内容	小型掘削機による試掘調査を実施し、埋蔵文化財の有無を確認する。			平成27年度 活動実績		試掘調査14件 (中林土地区画整理事業及び西部中央土地区画整理事業に伴う埋蔵文化財試掘調査含む)				
事業の指標	種別	指標の名称			単位	最終目標値	平成26年度	平成27年度	平成28年度		
	成果指標	(数値目標設定になじまない)			**	**	**	**	**		
事業のコスト	事業費	区分		平成26年度		平成27年度		平成28年度予算			
		財源内訳	国庫支出金 (千円)	0	0	0					
			県支出金 (千円)	0	0	0					
			地方債 (千円)	0	0	0					
			その他 (千円)	0	0	0					
			一般財源 (千円)	873	504	1,000					
	事業費計 (千円)		873	504	1,000						

実施計画

年度計画	区分	平成29年度計画	平成30年度計画	平成31年度計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	オペレーター付での試掘調査	オペレーター付での試掘調査	オペレーター付での試掘調査

自己評価

自己評価	前年度 自己評価	次年度の 方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了（今年度中） F 統合（今年度中） G 廃止（今年度中）	理由	市街化が進む野々市市においては、今後も開発に先立つ試掘調査に対応していく。
	C	C			
改善点	今後の改善事項 （ニーズ・課題等）		市街化が進む野々市市においては、今後も開発に先立つ試掘調査に対応していく。		

平成28年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成27年度実施事業分)

事業概要

事務又は事業の名称			民間開発に伴う緊急発掘調査事業				所管	部	教育文化部	
								課	文化課	
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】					区分	自治事務		
		5 文化の継承と創造と担い手の育成						ハード事業		
	1 文化財と文化資産の活用					単独事業				
	教育振興基本計画 施策名		基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(3) 伝統行事・文化財の保護と活用							
	行政改革 推進項目	00 該当なし					事業の開始・終了年度			
							事業開始		**	年度
					終了予定		**	年度		
	実施根拠となる 分野別計画		教育振興基本計画		根拠法令	文化財保護法第93条、第99条				
	事業の対象 (誰が・誰に)		野々市市が開発事業者に		事業の目的	突発的な開発事業に先立って埋蔵文化財発掘調査を実施し、事業の円滑な進行に資するとともに、郷土の歴史を明らかにする。				
	事業の内容		開発によって緊急な発掘調査に対応するものである。 その規模によって、年度内に対応する場合と、開発者と協議し、調査を翌年度とするものがある。 内容：現地調査、出土品整理、報告書刊行。		平成27年度 活動実績	・JAののいちライスセンター建設に係る埋蔵文化財 発掘調査 下林パンジョウアケ遺跡 現地調査952㎡・出土品整理・報告書刊行				
事業の指標	種別		指標の名称		単位	最終目標値	平成26年度	平成27年度	平成28年度	
	成果指標		(成果指標になじまない)		-	-	-	-	-	
					-	-	-	-	-	
事業のコスト	事業費	区分		平成26年度		平成27年度		平成28年度予算		
		財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0		
			県支出金	(千円)	0	0	0	0		
			地方債	(千円)	0	0	0	0		
			その他	(千円)	764	3,776	547	547		
			一般財源	(千円)	0	0	547	547		
	事業費計		(千円)	764	3,776	1,094				

実施計画

年度計画	区分		平成29年度計画	平成30年度計画	平成31年度計画
	今後3箇年の展開		→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)		・突発的な民間開発に伴う緊急発掘調査に対応する。	・突発的な民間開発に伴う緊急発掘調査に対応する。	・突発的な民間開発に伴う緊急発掘調査に対応する。

自己評価

自己評価	前年度 自己評価	次年度の 方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了（今年度中） F 統合（今年度中） G 廃止（今年度中）	理由	市街化が進む本市においては今後も緊急の開発事業に対応する必要がある。
	C	C			
改善点	今後の改善事項 （ニーズ・課題等）		H27年度における緊急開発発掘費は、当初予算の3倍以上の額であった。これら突発的かつ緊急的な事業に対し、迅速な対応が行えるよう、予算措置の改善をもとめる。		

平成28年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成27年度実施事業分)

事業概要

事務又は事業の名称			北西部土地区画整理事業に伴う発掘調査				所管	部	教育文化部	
								課	文化課	
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 5 文化の継承と創造と担い手の育成 2 ののいちの歴史再発見						区分	自治事務	
									ハード事業	
	教育振興基本計画 施策名 基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(3) 伝統行事・文化財の保護と活用						補助事業			
	行政改革 推進項目	00 該当なし						事業の開始・終了年度		
								事業開始	平成11	年度
							終了予定	平成28	年度	
	実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画				根拠法令	文化財保護法第93・94・99条			
事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が市民・野々市市北西部土地区画整理組合に				事業の目的	緊急発掘対象地となった三日市A遺跡・三日市ヒガシタンボ遺跡・二日市イシバチ遺跡・徳用クヤダ遺跡・郷クボタ遺跡の記録保存				
事業の内容	緊急調査対象地になった埋蔵文化財の出土品整理及び報告書刊行				平成27年度 活動実績	三日市A遺跡 出土品整理 報告書刊行				
事業の指標	種別	指標の名称			単位	最終目標値	平成26年度	平成27年度	平成28年度	
	成果指標	報告書刊行 ()は当該年度における冊数			冊	16	13(3)	14(1)	16(2)	
事業のコスト	事業費 財源内訳	区分		平成26年度		平成27年度		平成28年度予算		
		国庫支出金	(千円)	3,000		0		0		
		県支出金	(千円)	0		0		0		
		地方債	(千円)	0		0		0		
		その他	(千円)	5,250		6,057		4,988		
		一般財源	(千円)	4,250		3,072		4,989		
	事業費計		(千円)	12,500		9,129		9,977		

実施計画

年度計画	区分	平成29年度計画	平成30年度計画	平成31年度計画
	今後3箇年の展開	×	×	×
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	平成28年度で事業完了予定	平成28年度で事業完了予定	平成28年度で事業完了予定

自己評価

自己評価	前年度 自己評価	次年度の 方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了（今年度中） F 統合（今年度中） G 廃止（今年度中）	理由	区画整理組合と協議しながら、出土品整理・報告書刊行を実施し、平成28年度までに完了する予定である。
	C	E			
改善点	今後の改善事項 （ニーズ・課題等）		埋蔵文化財発掘調査は、文化財保護法によって記録保存の措置を講ずることになっており、発掘調査報告書刊行まで実施する必要がある。そのため、事業完了まで区画整理組合と協議しながら、出土品整理・報告書刊行を行っていく。		

平成28年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成27年度実施事業分)

事業概要

事務又は事業の名称				文化財普及啓発事業		所管	部	教育文化部	
							課	文化課	
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】				区分	自治事務		
		5 文化の継承と創造と担い手の育成					ソフト事業		
	1 文化財と文化資産の活用				補助事業				
	教育振興基本計画 施策名		基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(3) 伝統行事・文化財の保護と活用						
	行政改革 推進項目		00 該当なし				事業の開始・終了年度		
							事業開始	**	年度
						終了予定	**	年度	
実施根拠となる 分野別計画		教育振興基本計画		根拠法令	文化財保護法 第4条				
事業の対象 (誰が・誰に)		野々市市が市民に		事業の目的	公共の財産である文化財について、様々なイベントを通して周知を図り、地域の歴史に対する理解を深める。				
事業の内容		土器作りや勾玉作り等を当時の技法で製作体験する。 市内に残る歴史資料や、発掘調査で得た出土品などをふるさと歴史館、郷土資料館、文化会館フォルテ等で展示・公開する。 専門家を招いて市内の文化財に関係する講演会を開催する。 市内に文化財の説明板などを設置する。		平成27年度 活動実績	・古代体験学習 ・郷土資料館企画展「宿場町の建物展」 ・郷土資料館企画展「馬とくらし展」 ・埋蔵文化財企画展「発掘された謎」 ・ふるさと歴史講演会「手取川扇状地の縄文時代」 ・3市連携による国指定史跡リーフレット増刷 ・文化財説明板等設置(14基)				
事業の指標	種別		指標の名称		単位	最終目標値	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	成果指標		普及啓発事業参加者数		人	3000	2235	2439	2500
			文化財説明看板設置数 ()は当該年度の設置数		基	55	15(6)	29(14)	39(15)
事業のコスト	事業費	財源内訳	区分	平成26年度		平成27年度		平成28年度予算	
			国庫支出金 (千円)	1,090		1,000		1,000	
			県支出金 (千円)	0		0		0	
			地方債 (千円)	0		0		0	
			その他 (千円)	95		58		65	
			一般財源 (千円)	1,120		1,374		1,547	
		事業費計 (千円)	2,305		2,432		2,612		

実施計画

年度計画	区分	平成29年度計画	平成30年度計画	平成31年度計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	古代体験(歴史館) 企画展(歴史館・郷土資料館) 有識者による歴史講演会 文化財案内看板設置	古代体験(歴史館) 企画展(歴史館・郷土資料館) 有識者による歴史講演会 文化財案内看板設置	古代体験(歴史館) 企画展(歴史館・郷土資料館) 有識者による歴史講演会

自己評価

自己評価	前年度 自己評価	次年度の 方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了（今年度中） F 統合（今年度中） G 廃止（今年度中）	理由	市民に文化財を広く啓発するため、各種イベントや文化財案内看板の設置を継続して行っていく。
	C	C			
改善点	今後の改善事項 （ニーズ・課題等）		古代体験や企画展、文化財案内看板の設置について、特に子どもに対して周知をより行い、若い世代の文化財についての理解を深める。		

平成28年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成27年度実施事業分)

事業概要

事務又は事業の名称			重要文化財御経塚遺跡出土品保存修理事業			所管	部	教育文化部	
							課	文化課	
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 5 文化の継承と創造と担い手の育成 1 文化財と文化資産の活用					区分	自治事務 ソフト事業 補助事業	
	教育振興基本計画 施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(3) 伝統行事・文化財の保護と活用							
	行政改革 推進項目	00 該当なし					事業の開始・終了年度		
						事業開始	平成23	年度	
						終了予定	平成34	年度	
	実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	文化財保護法31条					
事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が市民に	事業の目的	重要文化財石川県御経塚遺跡出土品の保存管理につ いて万全を期し、貴重な文化遺産の展示公開を行い、 郷土に対する誇りと文化財愛護精神を高める。						
事業の内容	重要文化財石川県御経塚遺跡出土品の4,219点に ついて、展示及び保存・管理の万全を期すため、収蔵 整理・展示作業を実施した。また、保存修理事業として 、土器・土製品542点のうち257点の破損防止のため 詳細な復元作業、骨角器23点の強化処理を文化 庁の指導をもとに順次行う。		平成27年度 活動実績	・土器17点について詳細復元を実施 ・骨角器23点についてクリーニング及び強化処理を 実施 ・骨角器23点の保存ケースを作成					
事業の指標	種別	指標の名称		単位	最終目標値	平成26年度	平成27年度	平成28年度	
	成果指標	重要文化財指定の土器・土製品・骨角器保存 修理点数 () は当該年度の修理点数		点	280	73(18)	90(17)	14(104)	
		-		-	-	-	-	-	
事業のコスト	事業費	区分	平成26年度		平成27年度		平成28年度予算		
		国庫支出金 (千円)	4,000		5,000		3,100		
		県支出金 (千円)	0		0		0		
		地方債 (千円)	0		0		0		
		その他 (千円)	0		0		0		
		一般財源 (千円)	4,216		5,372		3,473		
	事業費計 (千円)	8,216		10,372		6,573			

実施計画

年度計画	区分	平成29年度計画	平成30年度計画	平成31年度計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	指定品の収蔵展示作業と、土器20点程度の詳細復元作業を実施	指定品の収蔵展示作業と、土器20点程度の詳細復元作業を実施	指定品の収蔵展示作業と、土器20点程度の詳細復元作業を実施

自己評価

自己評価	前年度 自己評価	次年度の 方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了（今年度中） F 統合（今年度中） G 廃止（今年度中）	理由	重要文化財御経塚遺跡出土品の所有者である市は、保存・管理の責務を永久に有する。詳細復元による品質の向上は、重要文化財の価値をより一層高めるとともに、市民が誇れるふるさとの文化財としてよりふさわしいものとなる。
	C	C			
改善点	今後の改善事項 （ニーズ・課題等）		現状のまま維持していく		

平成28年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成27年度実施事業分)

事業概要

事務又は事業の名称			文化財保存修理事業			所管	部	教育文化部	
							課	文化課	
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】					区分	自治事務	
		5 文化の継承と創造と担い手の育成						ハード事業	
	2 ののいちの歴史再発見					補助事業			
	教育振興基本計画 施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(3) 伝統行事・文化財の保護と活用							
	行政改革 推進項目	00 該当なし					事業の開始・終了年度		
							事業開始	平成23	年度
事業の指標						終了予定	平成43	年度	
	実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	文化財保護法第113・115・116条					
	事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が市民に	事業の目的	老朽化が進む国指定史跡の再整備の実施は、市民に文化財の魅力の再発見を促すとともに、文化遺産による野々市ブランドの確立と市内外に誇れるまちづくりを目指すものである。					
	事業の内容	末松廃寺跡は、指定地内の発掘調査を行って、史跡の保存整備を実施する。御経塚遺跡については、末松廃寺跡の再整備後に計画を検討する。これらの事業については、組織した市遺跡整備委員会によって方針を策定し実行する。	平成27年度 活動実績	整備委員会の開催 2回 築地塀・区画溝の位置確認のための発掘調査 281㎡					
	種別	指標の名称		単位	最終目標値	平成26年度	平成27年度	平成28年度	
成果指標	末松廃寺跡 発掘調査。再整備の進捗		%	100	30	40	50		
事業のコスト	事業費	区分	平成26年度		平成27年度		平成28年度予算		
		国庫支出金 (千円)	3,500		2,491		4,785		
		県支出金 (千円)	1,005		498		992		
		地方債 (千円)	0		0		0		
		その他 (千円)	0		0		0		
		一般財源 (千円)	2,566		2,010		3,826		
	事業費計 (千円)	7,071		4,999		9,603			

実施計画

年度計画	区分	平成29年度計画	平成30年度計画	平成31年度計画
	今後3箇年の展開	→	→	↑
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	整備委員の意見を基に末松廃寺跡の発掘調査(410㎡)及び、過年度と当該年度の現地調査の出土品整理と報告書の刊行を実施する。	過年度の発掘調査成果、整備委員の意見を基に、再整備基本計画を策定し、実施設計を行う。	再整備基本計画を基に、史跡公園整備の工事を実施する。

自己評価

自己評価	前年度 自己評価	次年度の 方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了（今年度中） F 統合（今年度中） G 廃止（今年度中）	理由	平成26年度から末松廃寺跡再整備に向けた指定地内での発掘調査を開始した。平成28年度も整備委員会に諮りながら発掘調査を行っていく。発掘調査については、国庫補助事業の採択を受けて継続実施していく。
	C	C			
改善点	今後の改善事項 （ニーズ・課題等）		市遺跡整備委員会に諮りながら指定地内における末松廃寺跡の発掘調査を実施し、その成果を基にして、保存整備の計画を策定していく。		

平成28年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成27年度実施事業分)

事業概要

事務又は事業の名称				文化振興総務費		所管	部	教育文化部	
							課	文化課	
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】				区分	自治事務		
		4 文化・スポーツ活動の充実					ソフト事業		
	1 市民文化・市民芸術の活性化				単独事業				
	教育振興基本計画 施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(2) 文化・芸術活動の推進							
	行政改革 推進項目	08 各種団体の自主的運営の促進					事業の開始・終了年度		
							事業開始	昭和56	年度
						終了予定	**	年度	
事業の概要	実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画		根拠法令	該当なし				
	事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が市文化協会、ジュニア文化・芸術サークル、 郷土芸能伝承団体、一般市民に		事業の目的	「芸術文化の香り高いまち」づくりの推進のため、市文化協会及びその加盟団体、ジュニア文化・芸術サークルの活動を支援し、自主的な運営を促す。また、じょんから踊りの普及促進や郷土芸能伝承保存を進める。				
	事業の内容	市文化協会及びジュニア文化・芸術サークル、郷土芸能伝承団体への活動助成 じょんから踊り講習会の開催 文化活動団体への助成		平成27年度 活動実績	・市文化協会への助成及び自主運営に向けた体制づくり ・ジュニア文化・芸術サークルへの助成(5団体) ・郷土芸能伝承団体への活動助成(23団体) ・じょんから踊り講習会の開催(各公民館・文化会館)全5回 ・文化活動団体への活動助成(1団体)				
事業の指標	種別	指標の名称		単位	最終目標値	平成26年度	平成27年度	平成28年度	
	成果指標	踊り講習会受講者数		人	280	169	160	180	
		市文化協会加盟団体数		団体	18	16	16	16	
事業のコスト	事業費	財源内訳	区分	平成26年度		平成27年度		平成28年度予算	
			国庫支出金 (千円)	0	0	0			
			県支出金 (千円)	0	0	0			
			地方債 (千円)	0	0	0			
			その他 (千円)	0	2,500	0			
			一般財源 (千円)	4,440	4,203	4,556			
		事業費計 (千円)	4,440	6,703	4,556				

実施計画

年度計画	区分		平成29年度計画	平成30年度計画	平成31年度計画
	今後3箇年の展開		→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)		市文化協会の自主運営 ジュニア文化・芸術サークルの広報支援 伝承団体への活動助成 文化活動団体への活動助成	市文化協会の自主運営 ジュニア文化・芸術サークルの広報支援 伝承団体への活動助成 文化活動団体への活動助成	市文化協会の自主運営 ジュニア文化・芸術サークルの広報支援 伝承団体への活動助成 文化活動団体への活動助成

自己評価

自己評価	前年度 自己評価	次年度の 方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了（今年度中） F 統合（今年度中） G 廃止（今年度中）	理由	市文化協会の独立に向け、事務員を育成していく。 ジュニア文化・芸術サークル会員募集等の記事を市広報に掲載し、活動支援を行い、将来の文化の担い手の育成を図る。 文化活動支援事業補助を今年度から行い、自主的・創造性のある市文化団体の文化活動に対し財政支援を行う。
	B	B			
改善点	今後の改善事項 （ニーズ・課題等）		文化協会の事務担当者の育成と、協会員が中心となった運営を目指す。将来の文化の担い手になりうるジュニア文化・芸術サークルの会員の募集や活動内容を市広報等に掲載し、活動支援を行う。		

平成28年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成27年度実施事業分)

事業概要

事務又は事業の名称			市美術展		所管	部	教育文化部	
						課	文化課	
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】			区分	自治事務		
		4 文化・スポーツ活動の充実				ソフト事業		
	1 市民文化・市民芸術の活性化			単独事業				
	教育振興基本計画 施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(2) 文化・芸術活動の推進						
	行政改革 推進項目	00 該当なし				事業の開始・終了年度		
						事業開始	昭和57	年度
					終了予定	**	年度	
	実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画		根拠法令	該当なし			
	事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が市民(市内に在住・通勤・通学している人、市内の絵画教室・サークルに通っている人)に		事業の目的	市民の美術活動の振興とその鑑賞の機会を設け、芸術文化の高揚を図る。			
	事業の内容	美術作品の募集、審査、展示会の開催、優秀作品受賞者への表彰式を行う。		平成27年度 活動実績	第4回市美術展(通算34回) 作品搬入:8月20日～22日 作品数:158点 展示期間:8月28日～9月6日 表彰式:9月6日 受賞作品数:47点 作品の返却:9月6日～			
事業の指標	種別	指標の名称		単位	最終目標値	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	成果指標	美術展作品数		点	150	169	158	170
事業のコスト	事業費	区分		平成26年度		平成27年度		平成28年度予算
		財源内訳	国庫支出金 (千円)	0	0		0	
			県支出金 (千円)	0	0		0	
			地方債 (千円)	0	0		0	
			その他 (千円)	40	35		35	
			一般財源 (千円)	599	518		532	
	事業費計 (千円)	639	553		567			

実施計画

年度計画	区分	平成29年度計画	平成30年度計画	平成31年度計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	・より多くの市民に、地域の貴重な芸術文化が鑑賞できる身近なイベントであることを周知するよう努める。 ・展示方法を検討していく。	・より多くの市民に、地域の貴重な芸術文化が鑑賞できる身近なイベントであることを周知するよう努める。 ・展示方法を検討していく。	・より多くの市民に、地域の貴重な芸術文化が鑑賞できる身近なイベントであることを周知するよう努める。 ・展示方法を検討していく。

自己評価

自己評価	前年度 自己評価	次年度の 方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了(今年度中) F 統合(今年度中) G 廃止(今年度中)	理由	市民の美術活動を推進し、作品鑑賞の機会を例年通り設ける。美術文化協会主催のアートスクール展を市美術展と同時開催することで、児童の制作意欲を推進し、また鑑賞者の幅も広げていく。
	C	C			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		より多くの市民に、地域の貴重な芸術文化が鑑賞できる、身近なイベントであることを周知するよう努める。		

平成28年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成27年度実施事業分)

事業概要

事務又は事業の名称			椿まつり事業		所管	部	教育文化部		
						課	文化課		
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 4 文化・スポーツ活動の充実 1 市民文化・市民芸術の活性化				区分	自治事務		
							ソフト事業		
	教育振興基本計画 施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(2) 文化・芸術活動の推進				単独事業			
		行政改革 推進項目	00 該当なし				事業の開始・終了年度		
					事業開始	平成元	年度		
					終了予定	**	年度		
実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画			根拠法令	該当なし				
事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市・市民が市民に			事業の目的	(椿まつり)「郷土を愛し緑豊かな住みよいまちづくり」を推進するため、市指定花木「椿」を介して各種行事を開催し、文化的な潤いのある地域環境と「賑わい」を創出する。 (調査研究委託)市指定花木「椿」を保存するため、苗木の生育について研究する。				
事業の内容	(椿まつり)アート・オブ・ツバキ、椿オリジナルステージ、折り紙コーナー、お茶席、花と緑の市、特産物市、つばき食堂、囲碁・将棋コーナーなどの運営及びそれら全般に関わる実行委員会等の開催 (調査研究委託)椿「野々市」の苗木の生育に関する研究			平成27年度 活動実績	(第27回椿まつり)実行委員会など会議の開催(年8回)、近隣事業所・関係者へのポスター・リーフレット配布によるまつりPR、椿作品の募集・展示、会場準備 (調査研究委託)石川県立大学と椿「野々市」の苗木生育に関する共同研究を行った。				
事業の指標	種別	指標の名称			単位	最終目標値	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	成果指標	椿まつり来場者数			人	7000	7857	6671	7500
		動員職員数			人	40	13	13	14
事業のコスト	事業費	区分	平成26年度			平成27年度		平成28年度予算	
			国庫支出金 (千円)	0	0	0			
			県支出金 (千円)	0	0	0			
			地方債 (千円)	0	0	0			
			その他 (千円)	0	0	0			
			一般財源 (千円)	4,550	4,363	8,724			
	事業費計 (千円)	4,550	4,363	8,724					

実施計画

年度計画	区分	平成29年度計画	平成30年度計画	平成31年度計画
	今後3箇年の展開	↓	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	サミットによって市民に椿のことを知ってもらい、これからの椿まつりを通して、改めて本市の魅力を知っていただくよう検討していく。	「椿」を通して、地域に親しみを持ってもらえるようなイベントを検討していく。	「椿」を通して、地域に親しみを持ってもらえるようなイベントを検討していく。

自己評価

自己評価	前年度 自己評価	次年度の 方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了(今年度中) F 統合(今年度中) G 廃止(今年度中)	理由	全国椿サミットの開催年度であり、従来の一般市民に加えて県内外から多くの椿愛好家訪れるため、それに備えた会場づくりが必要となるため。
	A	A			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		全国椿サミットの開催年であり、県内外から訪れる多くの椿愛好家を迎え入れ、同時に、一般市民にもより椿を通して野々市の魅力を知ってもらえるような、会場レアウト・催事内容を検討していく必要がある。		

平成28年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成27年度実施事業分)

事業概要

事務又は事業の名称			国内交流事業(文化課分)			所管	部	教育文化部
							課	文化課
事業の概要	総合計画 該当施策	1 一人ひとりが担い手のまち【市民生活】 3 多文化共生と国際・国内交流の充実 3 国際交流と国内交流の充実					区分	自治事務
								ソフト事業
	教育振興基本計画 施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(2) 文化・芸術活動の推進						単独事業
		行政改革 推進項目	00 該当なし					事業の開始・終了年度
								事業開始
								終了予定
	実施根拠となる 分野別計画	なし		根拠法令	なし			
	事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が市民・全国椿サミット協議会加入自治体・ 全国の椿愛好家に		事業の目的	椿を通じた交流を図り、野々市ブランドの発信を行う			
	事業の内容	日本ツバキ協会加入 第27回全国椿サミット野々市大会の開催		平成27年度 活動実績	・第26回全国椿サミット男鹿大会での野々市PR ・第27回全国椿サミット野々市大会の開催準備 ・椿まつり2016での椿サミットプレ事業の実施			
事業の指標	種別	指標の名称		単位	最終目標値	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	成果指標	椿サミット野々市大会参加者数		人	800	0	0	800
事業のコスト	事業費	区分		平成26年度		平成27年度		平成28年度予算
		財源内訳	国庫支出金 (千円)	0	0		0	
			県支出金 (千円)	0	0		0	
			地方債 (千円)	0	0		0	
			その他 (千円)	0	0		0	
			一般財源 (千円)	0	2,114		10,212	
	事業費計 (千円)		0	2,114		10,212		

実施計画

年度計画	区分	平成29年度計画	平成30年度計画	平成31年度計画
	今後3箇年の展開	↓	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	日本ツバキ協会法人会費 日本ツバキ協会野々市支部への助成	日本ツバキ協会法人会費 日本ツバキ協会野々市支部への助成	日本ツバキ協会法人会費 日本ツバキ協会野々市支部への助成

自己評価

自己評価	前年度 自己評価	次年度の 方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了(今年度中) F 統合(今年度中) G 廃止(今年度中)	理由	第27回全国椿サミット野々市大会の開催年度であり、椿を通じた交流を深めていく。
	－	A			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		「花と緑 ののいち 椿まつり」との同時開催で第27回全国椿サミット野々市大会を開催し、市民の椿への関心を高める必要がある。		

平成28年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成27年度実施事業分)

事業概要

事務又は事業の名称			文化会館管理			所管	部	教育文化部	
							課	文化課	
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 4 文化・スポーツ活動の充実 1 市民文化・市民芸術の活性化					区分	自治事務 ソフト事業 単独事業	
	教育振興基本計画 施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(2) 文化・芸術活動の推進							
	行政改革 推進項目	00 該当なし					事業の開始・終了年度		
							事業開始	昭和62	年度
							終了予定	**	年度
	実施根拠となる 分野別計画	該当なし			根拠法令	該当なし			
事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が市民に			事業の目的	芸術・文化の中心施設として浸透している文化会館フォルテの維持管理				
事業の内容	・文化会館及び駐車場の借地用地に対する借地料の支払い ・文化会館の維持管理			平成27年度 活動実績	・借地料の支払い				
事業の指標	種別	指標の名称			単位	最終目標値	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	成果指標	借地として残っている用地の取得(既取得1094.2㎡)			㎡	3694.2	0	0	0
事業のコスト	事業費	区分		平成26年度		平成27年度		平成28年度予算	
		財源内訳	国庫支出金 (千円)	0		0		0	
			県支出金 (千円)	0		0		0	
			地方債 (千円)	0		0		0	
			その他 (千円)	372		372		372	
			一般財源 (千円)	9,651		6,251		12,022	
	事業費計 (千円)		10,023		6,623		12,394		

実施計画

年度計画	区分	平成29年度計画	平成30年度計画	平成31年度計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	財政負担を勘案し現状を維持	財政負担を勘案し現状を維持	財政負担を勘案し現状を維持

自己評価

自己評価	前年度 自己評価	次年度の 方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了（今年度中） F 統合（今年度中） G 廃止（今年度中）	理由	文化会館管理上、必要な事業であり、段階的に借地用地の公有化を進めていく必要がある。
	C	C			
改善点	今後の改善事項 （ニーズ・課題等）		文化会館管理上、必要な事業であり、段階的に借地用地の公有化を進めていく必要がある。		

平成28年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成27年度実施事業分)

事業概要

事務又は事業の名称			情報文化振興財団			所管	部	教育文化部	
							課	文化課	
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 4 文化・スポーツ活動の充実 1 市民文化・市民芸術の活性化					区分	自治事務	
								ソフト事業	
						単独事業			
	教育振興基本計画 施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(2) 文化・芸術活動の推進							
	行政改革 推進項目	00 該当なし					事業の開始・終了年度		
							事業開始	平成16	年度
					終了予定	**	年度		
	実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画			根拠法令	文化芸術振興基本法 劇場、音楽堂等の活性化に関する法律			
	事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が(公財)野々市市情報文化振興財団・市民に			事業の目的	市民の教養向上と芸術文化の振興を図り、豊かで潤いのあるマルチメディア都市の形成と住民福祉の向上に寄与する。			
	事業の内容	指定管理者である(公財)野々市市情報文化振興財団が実施する文化会館フォルテの管理委託と施設運営及び財団の自主事業に対する補助			平成27年度 活動実績	・施設の管理委託 ・施設運営と財団が行う自主事業に対する補助			
事業の指標	種別	指標の名称			単位	最終目標値	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	成果指標	文化会館フォルテ来場者数			人	160000	106808	108253	120000
		情報交流館カメリア利用者数			人	75000	67935	71811	79000
事業のコスト	事業費	財源内訳	区分	平成26年度		平成27年度		平成28年度予算	
			国庫支出金 (千円)	0	0	0			
			県支出金 (千円)	0	0	0			
			地方債 (千円)	0	0	0			
			その他 (千円)	0	2,700	0			
			一般財源 (千円)	75,152	71,921	85,215			
		事業費計 (千円)	75,152	74,621	85,215				

実施計画

年度計画	区分	平成29年度計画	平成30年度計画	平成31年度計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	自主事業の充実と新たな事業の研究	自主事業の充実と新たな事業の研究	自主事業の充実と新たな事業の研究

自己評価

自己評価	前年度 自己評価	次年度の 方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了(今年度中) F 統合(今年度中) G 廃止(今年度中)	理由	情報文化振興財団の自主事業を支援し、市民参加型の芸術文化の活性化を促進する。
	C	C			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		情報文化振興財団の自主事業を支援し、市民参加型の芸術文化の活性化を促進する。		

平成28年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成27年度実施事業分)

事業概要

事務又は事業の名称			芸術鑑賞事業		所管	部	教育文化部		
						課	文化課		
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 4 文化・スポーツ活動の充実 1 市民文化・市民芸術の活性化				区分	自治事務		
							ソフト事業		
					単独事業				
	教育振興基本計画 施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(2) 文化・芸術活動の推進							
	行政改革 推進項目	00 該当なし				事業の開始・終了年度			
						事業開始	**	年度	
				終了予定				**	年度
実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画			根拠法令	該当なし				
事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が、市内中学生と、市内小学校5年生に			事業の目的	子どもたちに優れた舞台芸術鑑賞の機会を提供し、鑑賞能力の向上と豊かな情操の涵養を図る。				
事業の内容	1.オーケストラ鑑賞教室 オーケストラ・アンサンブル金沢による公演 2.古典芸能鑑賞教室 県内で活躍する邦楽家による公演			平成27年度 活動実績	1.オーケストラ鑑賞教室 日時:6月10日、14時開演 対象:野々市中学校全校生徒 2.古典芸能鑑賞教室 日時:6月18日、14時開演 対象:市内5小学校5年生				
事業の指標	種別	指標の名称		単位	最終目標値	平成26年度	平成27年度	平成28年度	
	成果指標	数値指標の設定になじまない		-	-	-	-	-	
事業のコスト	事業費	区分		平成26年度		平成27年度		平成28年度予算	
		財源内訳	国庫支出金 (千円)	0	0		0		
			県支出金 (千円)	0	0		0		
			地方債 (千円)	0	0		0		
			その他 (千円)	0	0		0		
			一般財源 (千円)	986	776		534		
	事業費計 (千円)		986	776		534			

実施計画

年度計画	区分	平成29年度計画	平成30年度計画	平成31年度計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	野々市中学校:古典芸能鑑賞 布水中学校:オーケストラ鑑賞 市内小学5年生:スクールシアター	野々市中学校:オーケストラ鑑賞 布水中学校:なし 市内小学5年生:スクールシアター	布水中学校:古典芸能鑑賞教室 市内5小学の5年生:スクールシアター

自己評価

自己評価	前年度 自己評価	次年度の 方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了(今年度中) F 統合(今年度中) G 廃止(今年度中)	理由	小学生は5年生時に1回、中学生は在学中の3年間にオーケストラ鑑賞と古典芸能鑑賞を必ず鑑賞できるよう計画し、2つの中学校が公平になるよう実施していく。
	C	C			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		小学生は5年生時に1回、中学生は在学中の3年間にオーケストラ鑑賞と古典芸能鑑賞を必ず1回は鑑賞する内容で継続していく。		

平成28年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成27年度実施事業分)

事業概要

事務又は事業の名称				文化財施設管理事業				所管	部	教育文化部	
									課	文化課	
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】							区分	自治事務	
		5 文化の継承と創造と担い手の育成								ソフト事業	
	1 文化財と文化資産の活用							単独事業			
	教育振興基本計画 施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(3) 伝統行事・文化財の保護と活用									
	行政改革 推進項目	00 該当なし							事業の開始・終了年度		
									事業開始	**	年度
								終了予定	**	年度	
	実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画			根拠法令	文化財保護法第4条 野々市市郷土資料館条例第3条 野々市市ふるさと歴史館条例第4条					
	事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が市民に			事業の目的	市内の歴史や文化財に関する資料を展示し歴史に対する理解を深め、住民に生涯学習の機会を提供する。					
	事業の内容	郷土資料館とふるさと歴史館において、市内の歴史や文化財に関する資料を展示し、市民及び市外の人へ野々市市の文化を発信する。また施設の管理・運営については平成26年度までは野々市市公共施設管理事業団への委託であったが、平成27年度より直営となった。			平成27年度 活動実績	・郷土資料館の管理・運営 ・ふるさと歴史館の管理・運営					
事業の指標	種別	指標の名称			単位	最終目標値	平成26年度	平成27年度	平成28年度		
	成果指標	来館者数(郷土資料館)			人	—	2775	4202	4400		
		来館者数(ふるさと歴史館)			人	—	3800	4651	4700		
事業のコスト	事業費	財源内訳	区分	平成26年度		平成27年度		平成28年度予算			
			国庫支出金 (千円)	0	0		0				
			県支出金 (千円)	0	0		0				
			地方債 (千円)	0	0		0				
			その他 (千円)	0	0		0				
			一般財源 (千円)	11,570	11,863		11,828				
		事業費計 (千円)	11,570	11,863		11,828					

実施計画

年度計画	区分		平成29年度計画	平成30年度計画	平成31年度計画
	今後3箇年の展開		→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)		郷土資料館・ふるさと歴史館の 管理・運営	郷土資料館・ふるさと歴史館の 管理・運営	郷土資料館・ふるさと歴史館の 管理・運営

自己評価

自己評価	前年度 自己評価	次年度の 方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了(今年度中) F 統合(今年度中) G 廃止(今年度中)	理由	引き続き、適切な管理運営を行っていく。
	C	C			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		引き続き、適切な管理運営を行っていく。		

平成28年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成27年度実施事業分)

事業概要

事務又は事業の名称			デジタル資料館事業			所管	部	教育文化部	
							課	文化課	
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 5 文化の継承と創造と担い手の育成 1 文化財と文化資産の活用					区分	自治事務 ソフト事業 補助事業	
	教育振興基本計画 施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(3) 伝統行事・文化財の保護と活用							
	行政改革 推進項目	00 該当なし					事業の開始・終了年度		
							事業開始	24	年度
							終了予定	**	年度
	実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	該当なし					
事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が市民に	事業の目的	電子データ化した野々市市の埋蔵文化財・民俗資料・歴史資料等を、市のホームページ上に開設するデジタル資料館において広く一般公開する。						
事業の内容	市のホームページにデジタル資料館を開設し、市が作成した文化財関係の電子データを分野別に順次紹介していくものである。 平成24年度：重文「御経塚遺跡出土品」コンテンツ作成 平成25年度：デジタル資料館開設 平成27年度：外国語コンテンツ追加	平成27年度 活動実績	・まち・ひと・しごと創生事業における外国人観光客誘致事業として、外国語（英語・繁体字・簡体字・ハングル）ページを新設した。 ・サーバー更新実施。						
事業の指標	種別	指標の名称		単位	最終目標値	平成26年度	平成27年度	平成28年度	
	成果指標	デジタル資料館紹介ページへのアクセス数		人/年	1500	547	269	900	
		（デジタル資料館webページへのアクセス数）		人/年	-	2505	4392	5500	
事業のコスト	事業費 財源内訳	区分	平成26年度		平成27年度		平成28年度予算		
		国庫支出金（千円）	0	4,528		0			
		県支出金（千円）	0	0		0			
		地方債（千円）	0	0		0			
		その他（千円）	0	0		0			
		一般財源（千円）	0	429		130			
	事業費計（千円）	0	4,957		130				

実施計画

年度計画	区分	平成29年度計画	平成30年度計画	平成31年度計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	市内文化財等のデジタルデータ化、およびデジタル資料館での掲載。	市内文化財等のデジタルデータ化、およびデジタル資料館での掲載。	市内文化財等のデジタルデータ化、およびデジタル資料館での掲載。

自己評価

自己評価	前年度 自己評価	次年度の 方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了（今年度中） F 統合（今年度中） G 廃止（今年度中）	理由	引き続きデジタル資料館のコンテンツを拡充していく。
	C	C			
改善点	今後の改善事項 （ニーズ・課題等）		市文化財等のデジタルデータ化を行い、デジタル資料館に掲載するという流れを継続していく。		

平成28年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成27年度実施事業分)

事業概要

事務又は事業の名称				(仮称) 富奥地区防災コミュニティセンター建設関係発掘調査事業				所管	部	教育文化部
									課	文化課
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】						区分	自治事務	
		5 文化の継承と創造と担い手の育成							ハード事業	
	教育振興基本計画 施策名	2 ののいちの歴史再発見						単独事業		
		行政改革 推進項目	基本目標3 生涯学習の推進						事業の開始・終了年度	
	基本的施策(3) 伝統行事・文化財の保護と活用						事業開始	平成25	年度	
	実施根拠となる 分野別計画	00 該当なし				終了予定		平成29	年度	
教育振興基本計画				根拠法令	文化財保護法第94条、99条					
事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が市民に				事業の目的		富奥防災コミュニティセンター建設に伴う埋蔵文化財の発掘調査を実施して、円滑な整備事業に資するとともに、地域の歴史を解明する。			
	事業の内容				平成27年度 活動実績		事業実施していない			
		埋蔵文化財(粟田遺跡)の発掘調査								
		平成25年度 現地調査								
		平成28年度 出土品整理								
		平成29年度 報告書刊行								
		(平成28年度より、埋蔵文化財整理事業へと統合)								
事業の指標	種別	指標の名称			単位	最終目標値	平成26年度	平成27年度	平成28年度	
	成果指標	発掘調査面積			m ²	919	0	0	0	
		調査報告書刊行			冊	1	0	0	0	
事業のコスト	事業費	財源内訳	区分	平成26年度		平成27年度		平成28年度予算		
			国庫支出金 (千円)	0	0	0				
			県支出金 (千円)	0	0	0				
			地方債 (千円)	0	0	0				
			その他 (千円)	0	0	0				
			一般財源 (千円)	0	0	0				
	事業費計 (千円)	0	0	0						

実施計画

年度計画	区分	平成29年度計画	平成30年度計画	平成31年度計画
	今後3箇年の展開	×	×	×
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	平成28年度より埋蔵文化財整理事業に統合	事業終了	事業終了

自己評価

自己評価	前年度 自己評価	次年度の 方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了（今年度中） F 統合（今年度中） G 廃止（今年度中）	理由	本事業は埋蔵文化財整理事業に統合し、継続する。
	C	F			
改善点	今後の改善事項 （ニーズ・課題等）		本事業は埋蔵文化財整理事業に統合し、継続する。		

平成28年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成27年度実施事業分)

事業概要

事務又は事業の名称				埋蔵文化財整理事業・二日市地内歩道整備に伴う緊急発掘調査				所管	部	教育文化部	
									課	文化課	
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】						区分	自治事務		
		5 文化の継承と創造と担い手の育成							ハード事業		
	2 ののいちの歴史再発見						単独事業				
	教育振興基本計画 施策名		基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(3) 伝統行事・文化財の保護と活用								
	行政改革 推進項目		00 該当なし						事業の開始・終了年度		
									事業開始		**
								終了予定		**	年度
実施根拠となる 分野別計画		教育振興基本計画		根拠法令		文化財保護法第94・99条					
事業の対象 (誰が・誰に)		野々市市が市民に		事業の目的		野々市市が調査原因となる発掘調査の出土品整理・報告書を刊行し、地域の歴史を解明する。 二日市地内歩道整備の埋蔵文化財発掘調査を実施して、円滑な整備事業に資する。					
事業の内容		野々市市が調査原因者となる埋蔵文化財発掘調査における出土品整理及び報告書刊行 二日市歩道整備発掘調査 現地調査及び出土品整理・報告書刊行		平成27年度 活動実績		埋蔵文化財整理事業については、事業実施していない。 二日市地内歩道整備に伴う緊急発掘調査は、平成26年度に完了済である。					
事業の指標	種別		指標の名称		単位	最終目標値	平成26年度	平成27年度	平成28年度		
	成果指標		発掘調査面積（二日市歩道）		m ²	277	0	0	0		
			報告書刊行		冊	2	0	0	1		
事業のコスト	事業費	財源内訳	区分		平成26年度		平成27年度		平成28年度予算		
			国庫支出金（千円）		0	0	0	0			
			県支出金（千円）		0	0	0	0			
			地方債（千円）		0	0	0	0			
			その他（千円）		0	0	0	0			
			一般財源（千円）		490	0	500				
		事業費計（千円）		490	0	500					

実施計画

年度計画	区分	平成29年度計画	平成30年度計画	平成31年度計画
	今後3箇年の展開	→	×	×
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	出土品整理・報告書刊行(栗田遺跡 富奥防災コミュニティセンター スポーツランド)	平成29年度で事業終了予定。ただし、調査対象が新たに発生した場合、本事業は継続する。	平成29年度で事業終了予定。ただし、調査対象が新たに発生した場合、本事業は継続する。

自己評価

自己評価	前年度 自己評価	次年度の 方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了（今年度中） F 統合（今年度中） G 廃止（今年度中）	理由	埋蔵文化財整理事業は、他の埋蔵文化財発掘調査事業と調整して実施しており、今後も計画に即して行っていく予定である。 二日市地内歩道整備に伴う緊急発掘調査は、平成26年度に事業完了した。
	－	C			
改善点	今後の改善事項 （ニーズ・課題等）		埋蔵文化財整理事業は、他の埋蔵文化財発掘調査事業と調整して実施しており、今後も計画に即して行っていく予定である。二日市地内歩道整備に伴う緊急発掘調査は、平成26年度に事業完了した。		

平成28年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成27年度実施事業分)

事業概要

事務又は事業の名称			喜多家住宅調査事業			所管	部	教育文化部	
							課	文化課	
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】					区分	自治事務	
		5 文化の継承と創造と担い手の育成						ソフト事業	
	教育振興基本計画 施策名	2 ののいちの歴史再発見					補助事業		
		行政改革 推進項目	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(2) 文化・芸術活動の推進					事業の開始・終了年度	
	00 該当なし					事業開始	**	年度	
						終了予定	**	年度	
実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画			根拠法令	該当なし				
事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が所有者・市民に			事業の目的	喜多家においては、重要文化財指定外の酒造関係建物についても文化財としての評価が高く、その文化財的価値を明らかにする。 その上で、重要文化財追加指定を目指す。				
事業の内容	喜多家住宅の敷地内において、重要文化財として指定のなされていない酒造関係建物の文化財的価値について、建造物の専門家に協力を要請し、調査・図面作成を行う。その成果を基に、報告書を作成し、重要文化財追加指定を目的として文化庁に具申する。			平成27年度 活動実績	・有識者による建物調査 ・建物図面作成				
事業の指標	種別	指標の名称			単位	最終目標値	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	成果指標	重要文化財追加指定			件	1	-	0	0
事業のコスト	事業費	区分		平成26年度		平成27年度		平成28年度予算	
		財源内訳	国庫支出金 (千円)	0	0	0			
			県支出金 (千円)	0	0	750			
			地方債 (千円)	0	0	0			
			その他 (千円)	0	0	0			
			一般財源 (千円)	0	813	1,588			
	事業費計 (千円)		0	813	2,338				

実施計画

年度計画	区分	平成29年度計画	平成30年度計画	平成31年度計画
	今後3箇年の展開	→	→	×
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	調査報告書の刊行 追加指定に向けての事務手続	追加指定に向けての事務手続 最短の場合、追加指定へ	最短の場合、事業終了

自己評価

自己評価	前年度 自己評価	次年度の 方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了（今年度中） F 統合（今年度中） G 廃止（今年度中）	理由	調査を継続して行い、重要文化財追加指定に必要な手続きを踏んでいく。
	－	C			
改善点	今後の改善事項 （ニーズ・課題等）		重要文化財追加指定に向けて事業を継続する。また、指定を見据えた利活用の計画について検討を行う。		

平成28年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成27年度実施事業分)

事業概要

事務又は事業の名称			四十万安養寺線外1路線整備事業に係る埋蔵文化財発掘調査				所管	部	教育文化部	
								課	文化課	
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】						区分	自治事務	
		5 文化の継承と創造と担い手の育成							ハード事業	
	2 ののいちの歴史再発見						補助事業			
	教育振興基本計画 施策名		基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(3) 伝統行事・文化財の保護と活用							
	行政改革 推進項目	00 該当なし						事業の開始・終了年度		
								事業開始	平成27	年度
		終了予定	平成30	年度						
	実施根拠となる 分野別計画	四十万安養寺線外1路線整備事業				根拠法令	文化財保護法94・99条			
	事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が市民に				事業の目的	四十万安養寺線外1路線整備事業予定地における道路 施工に先立って発掘調査を実施し、事業の円滑な進行 に資するとともに、貴重な埋蔵文化財を的確に記録保 存し、郷土の歴史を明らかにする。			
	事業の内容	四十万安養寺線外1路線整備事業予定地内に分布する埋蔵文化財の発掘調査を実施する。内容は、現地調査、出土品整理及び報告書刊行である。整備事業予定地内には、遺跡確認調査を行っていない箇所があり、H28に実施する予定である。遺跡が確認された場合は、事業計画に即して調査を行う。				平成27年度 活動実績	27年度は事業実施せず			
事業の指標	種別		指標の名称		単位	最終目標値	平成26年度	平成27年度	平成28年度	
	成果指標	発掘調査面積		m	-	-	-	-	2800	
		(面積未決定により目標値設定せず)		-	-	-	-	-		
事業のコスト	事業費	財源内訳	区分	平成26年度		平成27年度		平成28年度予算		
			国庫支出金 (千円)	0	0	12,883				
			県支出金 (千円)	0	0	0				
			地方債 (千円)	0	0	0				
			その他 (千円)	0	0	0				
			一般財源 (千円)	0	0	10,541				
		事業費計 (千円)	0	0	23,424					

実施計画

年度計画	区分	平成29年度計画	平成30年度計画	平成31年度計画
	今後3箇年の展開	→	→	×
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	現地調査(H28試掘調査で遺跡を発見した場合) 出土品整理	出土品整理 報告書作成	事業終了

自己評価

自己評価	前年度 自己評価	次年度の 方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了（今年度中） F 統合（今年度中） G 廃止（今年度中）	理由	開発事業に先立ち、計画的な発掘調査を実施することで、貴重な埋蔵文化財を的確に保護することを目指す。
	－	C			
改善点	今後の改善事項 （ニーズ・課題等）		他の埋蔵文化財発掘調査事業の計画と擦りあわせながら、事業を実施していく。		

平成28年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成27年度実施事業分)

事業概要

事務又は事業の名称				野々市中央地区整備事業（にぎわい交流ゾーン）（文化課分）				所管	部	教育文化部
									課	文化課
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 3 生涯学習社会の充実 1 社会教育の充実						区分	自治事務	
	教育振興基本計画 施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(3) 伝統行事・文化財の保護と活用							ハード事業	
							補助事業			
	行政改革 推進項目	00 該当なし						事業の開始・終了年度		
			事業開始		平成28		年度			
			終了予定		平成30		年度			
実施根拠となる 分野別計画	野々市市都市計画マスタープラン				根拠法令	該当なし				
事業の対象 （誰が・誰に）	野々市市が市民に				事業の目的	ヒト・モノの交流によるにぎわい創出の場として、民間活力を活用して、以下の機能を集約し、一体的に整備する。 ・市民サークル等の活動拠点となる「新中央公民館」 ・市民と大学等との協働の拠点となる「大学連携拠点」 ・観光案内や特産品販売の拠点となる「商業施設」				
事業の内容	中央地区に残る史跡や文化財を市民に周知するために、文化財の案内板・誘導板の作成・整備を行う				平成27年度 活動実績	以下の5基の案内板を設置 ・北横宮 ・聖護院道興歌碑 ・喜多家住宅 ・旧魚住家住宅 ・北国街道筋				
事業の指標	種別	指標の名称			単位	最終目標値	平成26年度	平成27年度	平成28年度	
	成果指標	中央地区文化財看板設置数			基	10	-	5	3	
事業のコスト	事業費	区分	平成26年度			平成27年度		平成28年度予算		
		国庫支出金（千円）	0			270		0		
		県支出金（千円）	0			0		0		
		地方債（千円）	0			0		0		
		その他（千円）	0			0		0		
		一般財源（千円）	0			274		952		
	事業費計（千円）	0			544		952			

実施計画

年度計画	区分	平成29年度計画	平成30年度計画	平成31年度計画
	今後3箇年の展開	×	→	×
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	事業計画なし	説明板2基の設置	事業終了

自己評価

自己評価	前年度 自己評価	次年度の 方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了(今年度中) F 統合(今年度中) G 廃止(今年度中)	理由	事業計画に則り、継続して案内板の設置を行う。
	－	C			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		市民の目に入りやすく、分かりやすい内容の板面製作に取り組む。		

・(4-2) 学識経験者からの意見

文化振興においては、芸術・美術を鑑賞することによって市民の心の豊かさや創造性を育むことから、文化・芸術活動に触れる機会を多くするとともに、地域の伝統芸能や伝統行事について保存・伝承の推進が望まれます。

また、今年度、椿まつりと同時開催される「全国椿サミット野々市大会」に関して市民の意識・関心の高揚を高めると共に、全国に向けて市の魅力を発信できるような試みを行っていただきたいと思います。

文化財においては、郷土の歴史や文化財について市民にわかりやすく発信することが求められており、市内の各文化財についての研究を深め、文化財企画展・歴史講演会・市デジタル資料館の充実を図り、文化財説明板設置と文化財施設の活用を推進していただきたいと思います。

・(4-3) 今後の方針

【文化振興関係】

- ① 優れた文化や舞台芸術に触れる機会の拡充に努めます。
- ② 文化関係団体を支援すると共に自主的な運営と活動の拡大を促し、市民が文化に親しみやすい環境づくりに努めます。
- ③ 地域芸術家との協働により、若い世代や一般の方々が芸術・美術にふれることのできる機会の拡充に努めます。
- ④ 地域に伝わる郷土芸能の保存伝承に努めます。
- ⑤ 全国椿サミット野々市大会において市民協働による催事等を行い、市内外に向けてツバキを通したまちづくりの発信に努めます。

【文化財関係】

- ⑥ 歴史講演会や古代体験学習、文化財企画展など、郷土の歴史を深める普及啓発事業の更なる充実に努めます。
- ⑦ 史跡末松廃寺跡の再整備に向けて、調査と整備方針の検討を進めていき、調査の状況については市民に情報を提供してまいります。
- ⑧ 子どもたちにもわかりやすい富樫氏のマンガ本『八曜の剣』を広く周知して、ふるさと教育の充実と富樫氏の発信を図ります。
- ⑨ 地域に残る各文化財について、わかりやすい案内・説明板の設置を進め、市民への周知を図ります。
- ⑩ 郷土資料館・ふるさと歴史館の活用の推進を図ります。郷土資料館に開設した茶房を地域住民や来訪者の交流の場として活用し、本町通りのにぎわい創出を進めます。
- ⑪ 重要文化財「石川県御経塚遺跡出土品」の公開展示や文化財資料展示について充実を図ります。
- ⑫ 各種文化財の調査・収集・研究を推進します。
- ⑬ 市のホームページで文化財資料の公開・活用を行うデジタル資料館の充実を図り、市民に広く周知してまいります。

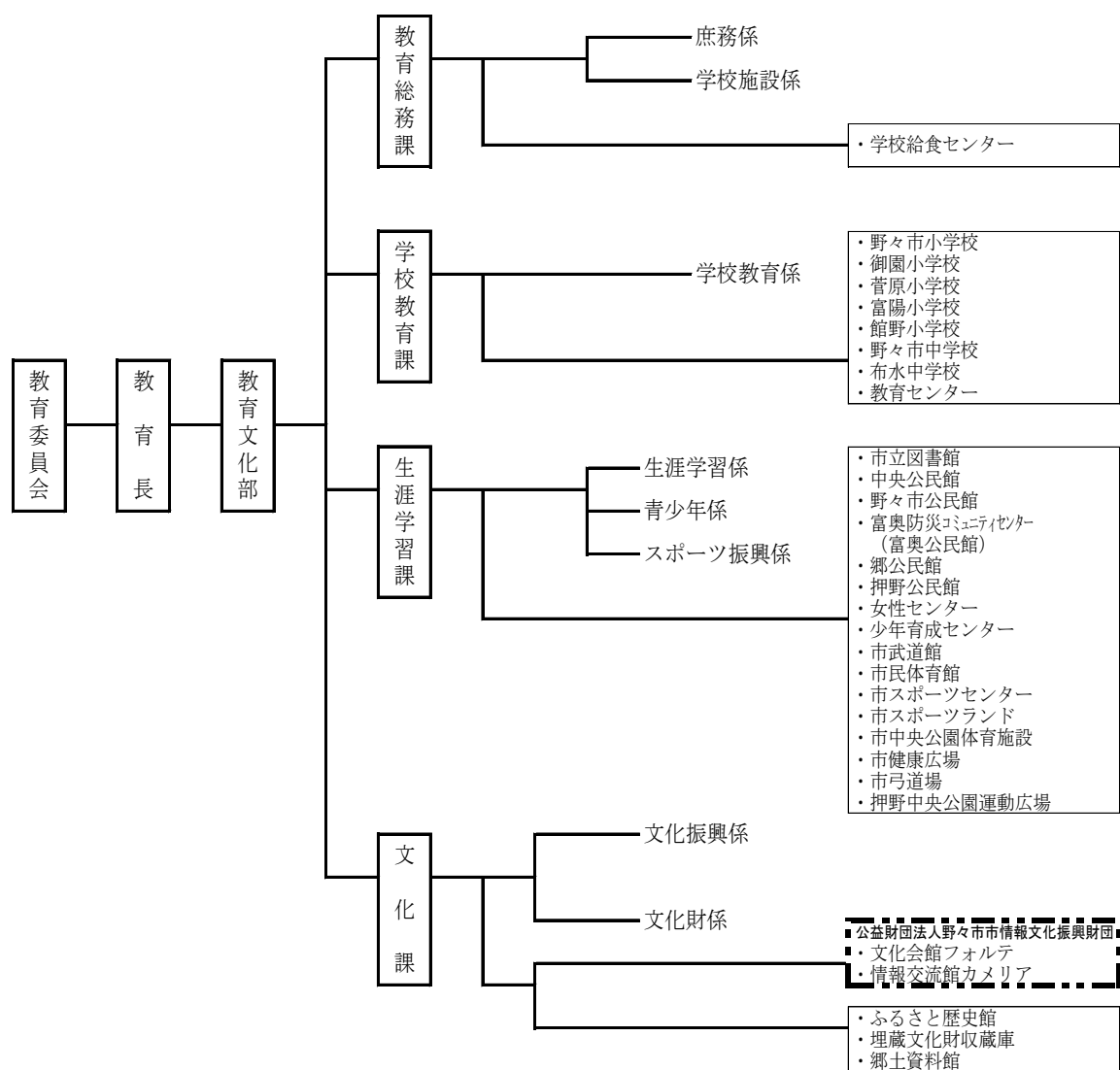
4 参考資料

野々市市教育委員会組織（平成 28 年 3 月 31 日現在）

<教育委員会>

委員長	松野勝夫	委員長職務代理者	荻野直子
委員	北本正	委員	中野恵美子
委員	松本哲幸	委員（教育長）	堂坂雅光

<教育委員会事務局組織>



お問い合わせ

〒921-8510

石川県野々市市三納一丁目1番地

野々市市教育委員会

TEL（代表）：227-6111

FAX：227-6258

Eメール：kyouiku_soumu@city.nonoichi.lg.jp